



特集

箒平地区活性化に**若い力**を



アケボノツツジ 群生地を散策

山の斜面に群生するアケボノツツジのピンクが青空の下に輝く春の箒平。この自然が織り成す風景を楽しもうと箒平地区散策が行われ、80人が参加しました。学生たちは、地区の人たちと前日からバーベキューの準備に取り掛かり、参加者を迎えました。



未来へのアプローチ(提案)

学生たちは、今後の箒平地区について、いろいろなアイデアを提案しています。アレルギアを持つ子どもたちに静養してもらうシステムの構築や道路の2車線化、若者を呼び込むための方法など。

大きなことは出来ないが、芋煮会や餅つきなどの行事を作って交流し、できることから箒平を元気づけたいと意欲に燃えていました。

参加された岡さんと学生の浦田さんから感想をいただきました

春の箒平地区を散策して



岡 スミ子さん

今年の気候は、不順にて心配していましたが、箒平地区の散策の日には、良い天気にも恵まれました。

バスにゆられて、奥へ奥へと川辺を通り約30分—きれいな水とおいしい空気、そして新芽が出始めているのに感動しました。さらに、奥へと進むと薄紫色の花が見えてきました。アケボノツツジ研究会事務局長の鈴木正範さんから、アケボノツツジのお話を詳しくお聞きすることができました。

アケボノツツジの美しさに、本当に心が癒され、目の保養になりました。

箒平地区集会所では、いわき明星大学の学生の方々が、一生懸命にバーベキューを作ってくださり、また、箒平地区の皆さん手作りの柏餅の試食もあり



地域点検マップの作成

学生たちはまず、地区をより知るために、地域点検マップを作成することを決めました。そのために交流会を開催。実際に地区を訪れ意見交換を行いました。そのなかで、学生の視点から地区の良いところを探られました。また、良いところを探るなかで課題も見つかりました。

地区のこころ

- 大自然
- 健康な人が多い
- アレルギー(アトピー性皮膚炎・花粉症など) ぜんそくの予や孫がいない
- 自給自足の生活
- ロハスな生活(ロハスII環境や健康に気をつけた生活スタイル)
- 好きなことができる(自由な空間)
- イワナ、ヤマメやまいたけが取れるなど自然の収穫物
- 美しい花が自生している

地区の課題

- 災害が発生しやすい場所がある
- 交通事故が起こりやすい
- 獣害がある

これらの課題解決に学生が動きました。



いわき明星大学鎌田ゼミの皆さん



演習の成果を 実践

学生たちは一般教育科目として「災害ボランティア演習」を選択。被災地での支援物資の仕分け作業や仮設住宅の周辺整備、会津地方では除雪作業を行いました。その経験を活かし、生活道路の確保、災害防止のための樹木伐採を行いました。2週間で延べ40人が参加。約7キロにわたり、道路の白線を覆っていた土を取り除く作業や伐採した樹木の片付けに汗を流しました。

箒平地区 集落活性化事業に参加してみよう



いわき明星大学 鎌田ゼミ 浦田 翔平さん

今回、私たちいわき明星大学鎌田ゼミは箒平地区活性化事業にボランティアという形で参加させていただきました。私たちは昨年、箒平地区の集落調査を通して住民の方との交流をはかってきました。久しぶりに住民の方とお会いできて

とても楽しくお手伝いすることができました。私たちがお手伝いした主な内容として、参加者の皆さんがアケボノツツジを観察に行っている間にバーベキューやその他の食材を準備しました。前日にある程度の準備をしていたのでスムーズに進めることができました。と思っています。

バーベキューでは、コンロが10あり、それぞれに一人ずつ学生がつくかたちでお肉などを焼いたりしました。学生一人ひとりが参加してくれた人たちと楽しくお話をしながら食事をしていくと、皆さんから

「学生さんも食べてね」「とてもおいしいですよ」「ありがとうね」と声をかけていただきました。今回の私たちのお手伝いは少しでも皆さんの力になることができたのかなと励まされました。

箒平地区の皆さん手作りの柏餅や山菜のてんぷらも評判が良かったです。実際に食べてみてすごくおいしかったです!!

また今後も何かしらの形で関わり、お手伝いをしていきたいと思っています。その時を楽しみにしています。